浜益地区

風景

厳しい風雪を耐え抜いた名木や原始の姿そのままの国定公園など、その風景には、歴史の深さが漂います。

はまます郷土資料館

——まず、浜益といえば有名な木がありましたね。

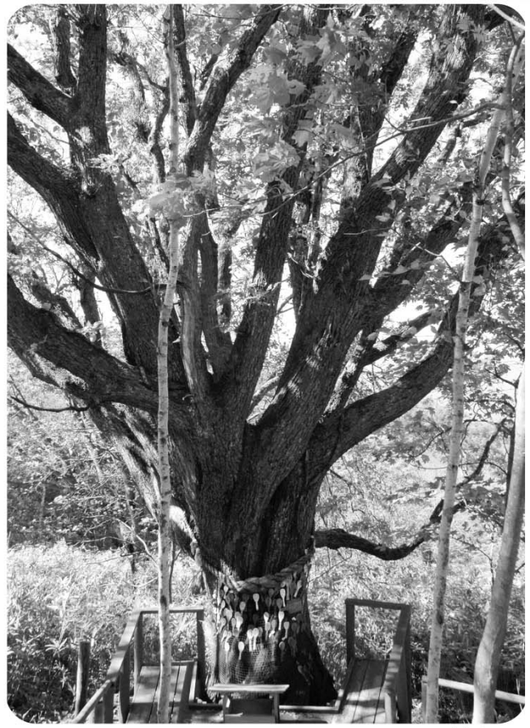
広報 樹齢820年と推定される**千本ナラ**ですね。その姿があたかも枝が千本も生えているように見えることから命名されたこの名木については、広報8月号でも紹介しましたが、実はあえて言わなかったことが…。

——それは何ですか?

広報 実は、千本ナラは3本あるんです。

——えっ、といいますと?

広報 この3本をまとめて千本ナラと呼ぶとか、道路から向かって一番北側のものを千本ナラと呼ぶとか諸説ありまして…。ちなみに、写真などでよく皆さんが目にされるのは一番南側の木なんですが、いずれにしても、10年ほど前に北側の木は落雷で幹が裂けてしまったので、できれば早めに見に来てもらったほうがいいですね。


千本ナラ

——ほかの名勝も教えてください。

広報 地元ならではの楽しみ方に、4月上旬から中旬にかけての**愛冠岬**の風景があります。特に、はます郷土資料館(旧白鳥番屋)からの眺めは最高で、この季節になると、岬方面の残雪模様が毎日変わっていくんですが、それが時には馬のように見えることもあって、「**馬雪**」なんて名付けて風景を楽しんでいます。あとは、やっぱり**黄金山**ですね。**73・5m**と決して高くはないんですが、いい山ですよ。ふもとの黄金沢は川魚の宝庫で、釣り人には人気の渓流です。このほかにも、平成2年に指定された**暑寒別天売焼尻国定公園**や**雄冬岬**、**白銀の滝**など、見どころも満載、自然もいっぱいです。国蝶の**オオムラサキ**が見られる北限でもあるんですよ。

——実際に見たことは?

広報 残念なことに私は見ていませんが、浜益温泉に標本がありますので、そこでぜひご覧ください。

文化

漁具、開拓資料、古代文化の遺品…往時をしのぶ貴重品に出合うなら、ニシン番屋を改修復元した郷土資料館へ。

——浜益の歴史や文化に触れるなら、どこがおすすめですか?

広報 村時代に指定文化財第1号となった**はます郷土資料館(旧白鳥番屋)**は必見です。ここは、ニシン漁が盛んだったころ、事業拡張のために白鳥浅吉が**1899(明治32)年**に新築した番屋で、道内有数の資料を誇る自慢の施設。漁具のほかにも、開拓の往時をしのばせる珍しい生活用品なども展示されており、中でも**1872(明治5)年の米国製の時計**は、ぜひ見てほしいですね。毎朝ネジを巻いて動かしているんですが、2つの文字盤があって、時刻と月日と曜日を示しています。現代でもかなりユニークな時計だと思います。

——アイヌ民族の口承文芸「ユーカラ」の発祥地でもあると聞きました。

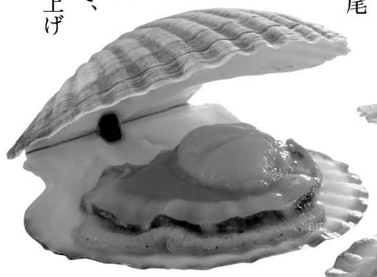
広報 「ユーカラ」最古の英雄叙事詩ポイヤウンペユーカラが、毘砂別(ピシャツ)で生まれたといわれています。

特産品

ホタテや幻のルッツ、リンゴやサクランボと食べてみれば、どれも意外なほどの美味ぞろい。

——まち一番の特産品は、やはりサケですか?

広報 そうですね。サケの定置網漁は漁業の中心ですから。でも、ここでは**サケの釣獲調査**についてご紹介しましょう。ご存知のとおり、河川でのサケ釣りは禁止されていますが、浜益川では例年9月から10月の間、釣獲調査を行います。全国から釣り人を募集し、1人5尾までをめどにサーモンフィッシングを体験してもらうんですが、ちなみに昨年は、延べ約3800人の方が参加して、6千尾弱釣り上げています。



——サケのほかにも忘れてならないのがホタテの養殖ですね。

広報 浜益はしけが多い。でも、そのおかげで海がきれいに保たれるため、**ホタテ**の養殖に向いているそうです。

——幻のルッツと呼ばれる美味もあるとか?

広報 はい。**ルッツ**はふだん海底の泥にもぐっていて、10~11月ごろの大しけのあと、ごくたまに岩場などに打ち上げられます。ゴカイやミミズの仲間で、正式には「ユムシ」。滅多にお目にかかれないんですが、今は冷凍保存が可能ですから常時、食べられる店もありますよ。磯の香りと歯ごたえが楽しめて、地酒「**黄金飛沫**」、「**浜っちゃい益**」の肴にもぴったりです。

——美味といえば果物も有名ですね。

広報 **サクランボ**や**リンゴ**など農作物もたくさん収穫されていますよ。**手作りジャム**や、最近ではリンゴジュースも人気がありますし。ぜひ、お土産にいかがですか。

——最後に、とっておきの話題がありましたら、ぜひPRを。

広報 どの辺で紹介しようかと考えあぐねていたのですが、浜益には、石狩と同様に温泉があります。

——ああ、そうでした! 確か源泉を飲めるんですよね。

広報 はい。浜益温泉は神経痛や筋肉痛などに効能があるといわれています。ほかにも、露天風呂やバイブラバス、サウナなどもあり、中でも、特に**水風呂**がおすすめです。

——水風呂をイチオシする理由は?

広報 実は、水風呂には地下水を使用しているので、本当に冷たいんです。サウナの後など、体が締まる思いでスッキリしますよ。

伝え隊! 私のまちのヒストリー

浜益小劇場

6年前に演劇好きの仲間が集まって、「ここに住む者たちでまちを元気にしたい!」という思いから立ち上げたのが「浜益小劇場」です。平成13年8月の本格的な単独公演「鰊(にしん)~パートⅠ」を上演して以来、ニシン漁、戦争、地元産業など、地域の歴史と暮らしぶりを劇のテーマと決め1年に約3回のペースで発表してきましたが、今年8月の「がっぺい」で15回目の公演を迎えることができました。中でも最終劇とした「鰊~パートⅢ」は、多くの住民から実体験としてのニシン漁をたくさん取材し、物語に現実感を持たせました。とは言っても当劇団のメンバーは比較的若い世代が多いため、今の浜益の礎となった先人の苦労や苦悩に対しては驚きの連続だったと思いますが、史実を扱った演劇を創りあげる過程でまちの歴史を学ぶことは、ふるさと意識を高める大きなきっかけになったようです。 (宇野博徳さん談)